

「非静止衛星を利用する移動衛星通信システムの技術的条件」のうち
「1.7GHz 帯/1.8GHz 帯を用いた衛星コンステレーションによる携帯電話向け非静止
衛星通信システムの技術的条件」の検討開始について

1 検討開始の背景

昨今、小型の人工衛星の実用化が比較的容易になったことにより、通信の遅延時間が短い中・低軌道に打ち上げた多数の小型衛星を連携させて一体的に運用する「衛星コンステレーション」を構築し、高速大容量通信など多様なサービスを提供することが可能となってきた。

このような中、衛星コンステレーションによる非静止衛星通信サービスを携帯電話端末向けに提供することにより、災害時に地上の携帯電話基地局が損壊した場合の通信手段を確保するとともに、地上の基地局でカバーできていない山岳地帯や離島等へ通信サービスを提供する「1.7GHz 帯/1.8GHz 帯を用いた衛星コンステレーションによる携帯電話向け非静止衛星通信システム」について、令和4年中にもサービスを開始するよう計画が進められている。このことから、本システムの導入を図るため検討を行うものである。

2 検討内容

「非静止衛星を利用する移動衛星通信システムの技術的条件」(平成7年9月25日付け諮問第82号)のうち「1.7GHz 帯/1.8GHz 帯を用いた衛星コンステレーションによる携帯電話向け非静止衛星通信システムの技術的条件」

3 検討体制

衛星通信システム委員会(主査:安藤 真 東京工業大学 名誉教授)において検討を行う。

4 一部答申を予定する時期

令和3年12月頃